

1. 実施目的

岡山市の目指すべき交通ネットワークの将来像を検討するため、交通実態を把握するとともに、現状の交通サービスに対する問題点や、必要とするサービス水準等について把握することを目的としたアンケート調査を実施する。

2. 調査対象

2.1 調査対象者

調査対象は岡山市の18歳以上※1の市民とする。

※1：日常生活で自動車を利用する可能性がある年齢層を対象とするため、18歳以上とする。

2.2 配布・回収方法

住民基本台帳より世帯単位で任意抽出し、郵送配布・郵送回収とする。

3. 実施方針

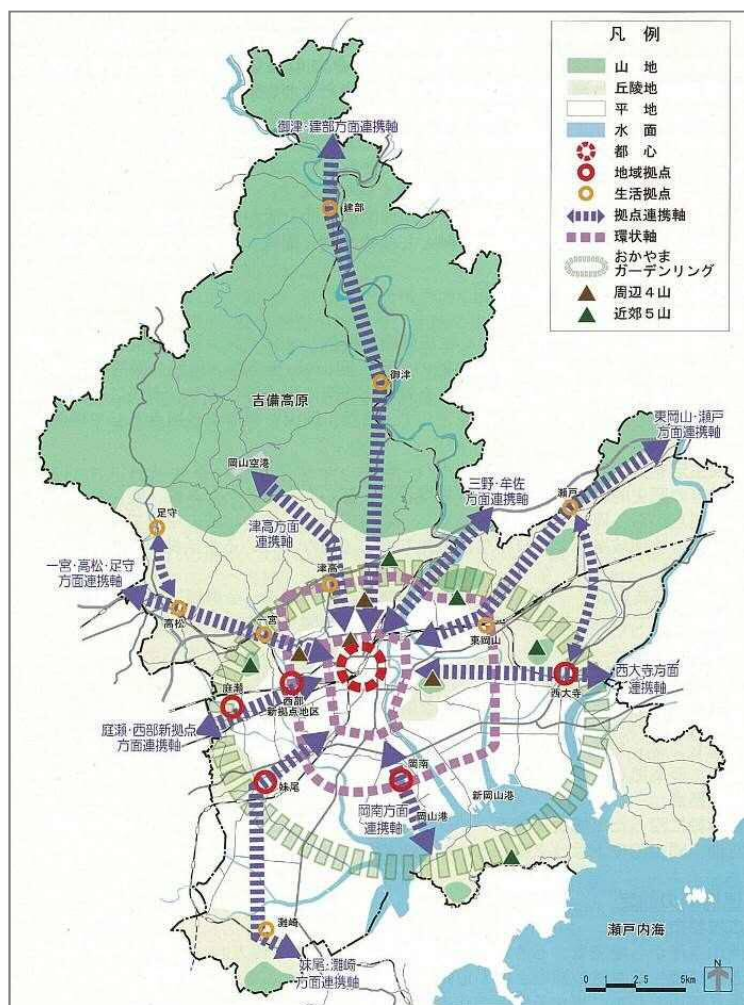
3.1 調査の方針

公共交通サービス水準が向上した場合の自動車から公共交通への転換可能性をアンケート調査から把握する。分析対象は、表1に示す18歳以上64歳以下の生産年齢層と、65歳以上の高齢者層の2区分とする。

また、居住地特性として、図1に示す都市計画マスタープランの将来都市構造における9軸上、都心地域、およびその他の地域区分を考慮する。

表1 分析対象者の想定

| 【分析対象者の想定】 | |
|------------------------------|---|
| 1) 生産年齢層 (18歳以上 64歳以下) | 普段自動車を利用しており公共交通サービス水準が向上した場合に公共交通利用への転換が期待できる就業者 |
| 2) 高齢者層 (65歳以上) | 公共交通サービス水準が不足しているために自動車に依存している高齢者 |



(出典) 岡山市都市計画マスタープラン (平成24年3月)

図1 将来都市構造図

3.3 調査内容

| 項目 | | 内容 | |
|-------------------------|-----|-----------|---------------------------------------|
| 個人属性 | 問1 | 記入式 | 年齢 |
| | 問2 | 選択式 | 性別 |
| | 問3 | 選択式 | 職業 |
| | 問4 | 選択式 | 1週間の外出回数・曜日 |
| | 問5 | 記入式 | 最寄りの駅名 |
| | 問6 | 選択式 | 最寄りのバス停認知度 |
| 自動車保有・利用状況 | 問7 | 選択式 | 自動車の保有台数 |
| | 問8 | 選択式 | 自動車の保有形態 |
| | 問9 | 選択式 | 運転免許の取得状況と自動車の利用状況 |
| | 問10 | 選択式 | 自動車の運転嗜好度合い |
| | 問11 | 選択式 | 運転免許返納意向の有無 |
| 今後の転居意向 | 問12 | 選択式 | 現在の住まいの不便さ |
| | 問13 | 選択式(上位3つ) | 希望する居住地 |
| | 問14 | 選択式 | 今後10年間の転居意向 |
| 目的別(通勤・通学、買い物、その他)の外出行動 | 問15 | 選択式 | 外出頻度 |
| | 問16 | 記入式 | 外出先(外出先住所・施設名について) |
| | 問17 | 選択式(複数選択) | 外出時の交通手段 |
| | 問18 | 選択式 | 交通手段選択理由 |
| | 問19 | 選択肢 | 自動車からの転換可能性 |
| | 問20 | 選択式 | 自動車のかわりに公共交通を利用する条件(運行本数・片道運賃・運行サービス) |

3.4 実施スケジュール

| 時期 | 項目 |
|--------|-------------------|
| ～11月初旬 | アンケート計画及び調査票内容の確定 |
| ～11月中旬 | 調査票・封筒印刷、封入 |
| ～12月中旬 | アンケート調査実施 |
| 12月中旬～ | アンケート結果入力・分析 |